



## 速報

### 第8号

【URL】<http://www.bousai-cafe.jp/> 【発行元】ぼうさいカフェ事務局

い機会になりました。  
 深めていただく良  
 る知識や認識を  
 ぼうさいに対す  
 し、幅広い方に  
 飛び入りで参加  
 道路利用者の方々も

昭和二十一年の昭和南海地震が発生した翌日に『ぼうさいカフェ in とくしま』を開催。その記憶を風化させず、未来に語り継いで教訓とすることができました。



速報  
**足湯につかりながら  
 ゆったりとぼうさい学習**

この会場をフルに活用し、足湯館では『防災みなみ体操』の実演や「昭和南海地震」の紙芝居と体験談を展開。物産館では、小学生がすぐろくに似た『ぼうさい駅伝』や、おとなから子どもも含めたしゃべり場を設け、さまざまなかたちでいざというときの対策をみんなで話し合い、学びました。

日和佐ならではの場所や工夫から楽しく学びました



オープンしてまず、日和佐小学校の児童が独自に生み出した『防災みなみ体操』を披露。参加者全員で元気に体操しました。続いて昭和南海地震を題材とした紙芝居の朗読と、被災された方の貴重な体験談を聞き、日本YWCAの池上三喜子さんに詳しい解説をいただき、当時の状況や災害対策を学びました。最後に美波町の浜大吾郎さんと池上さんの進行で、「いま何ができるか、被災したらどうするか」を話し合いました。

地域の未来を担う  
 子どもたちは  
 明るく元気でした



リズムカルな体操の披露や『ぼうさい駅伝』で遊んだ日和佐のこともたちは、とにかく素直で元気いっぱい。世代を越えた地域のつながりの中心として活躍していました。

### 家族と一緒に

学んだよ



近所のおじいちゃんやおばあちゃんが地震でこわい思いをしたはなしを聞いて、ぜったいに助けたいと思いました。

今日得た知識を  
 次の南海地震に  
 活かすために



さまざまな感想が最後の話し合いや『ぼうさい駅伝』、アンケートで寄せられました。「消火器が十五秒しか使えないことに驚いた」「災害用伝言ダイヤルを知ってよかった」「地震の時に、あれもこれもと欲張るのはダメだと分かった」「津波の話に聞き入ってしまった」など、多くの有意義な予防対策を学ぶことができました。



【主催】内閣府、徳島県、美波町、防災推進協議会

【後援】とくしま地震防災県民会議

【協力】かいふ農業協同組合、日和佐観光協会、日和佐漁業組合、日和佐商会、日和佐森林組合、道の駅日和佐、美波町社会福祉協議会 (五十音順)